

多様な価値観に触れ、自らの視野を広げる

2019年度（令和元年度）北京教育交流訪問を終えて

今年度は、12回目の北京教育交流訪問となりました。

12月23日（月）から27日（金）の4泊5日で、生徒20名、教員5名、教育委員会事務局員等5名、計30名が北京市を訪問しました。

訪問先：首都師範大学第一附属中学，中央音楽学院，首都体育学院

見学先：北京動物園，王府井，天安門広場，故宮博物院，万里の長城

23日（月） 〈第1日目〉

出発式

出発式では、教育次長から激励を受け、訪問団を代表して、中央中学校1年の林里音さんが、現地で学んできたことや教育交流における決意を伝えました。

出発式終了後、訪問団は、保護者や学校関係者をはじめとする多くの方々に見送られ、北京に向けて出発しました。



教育次長 挨拶



生徒代表 挨拶



多様な価値観に触れ、自らの視野を広げる

24日(火) <第2日目>

首都師範大学第一附属中学訪問
北京動物園

首都師範大学第一附属中学訪問

英語科・体育科・音楽科・芸術科の授業参加や交流を行ったり、学校を案内してもらったりしながら、生徒同士の交流を深めました。

英語科授業



英語科の授業では、積極的に英語で会話する北京の生徒に、圧倒されている様子もありましたが、何とか英語で会話しようと試みる中で、自然と北京の生徒とも会話が生まれていました。

運動タイム



施設見学



体育科授業



男子と女子に分かれて、マット運動や器械体操を行いました。互いに拍手や声援を送りあい、温かい雰囲気の中で体験ができました。



北京の生徒と同じ食堂で昼食をいただき、その後、校内の施設を見学しました。

教 育 交 流



盈進中学校3年の塩川愛さんが代表挨拶を行い、教育交流が始まりました。英語で書いてある質問に答えるゲームを行ったあと、短時間でしたが、意見交流を行いました。

意見交流は、隣同士のペアやグループになって行われました。互いの英語がなかなか伝わらないため、とまどう表情も見られましたが、言い換えたり、身振り手振りを交えたりしてやりとりする姿から、何とか自分の気持ちや思いを伝えようと挑戦していました。

教 員 交 流



音 楽 科 授 業



美 術 科 授 業



生徒たちが交流している間、教員同士も交流しました。英語の授業のことや中国の保健室事情など、様々な質問を通して互いに意見を交わしました。

音楽科の授業では、中国の楽器演奏やリズムに合わせて歌詞を作る活動などを体験しました。

美術科の授業では、半田ごてを使って、昔の皇帝が書いた「福」の文字を烙画らくがで表す伝統工芸を体験しました。



北 京 動 物 園



中学訪問終了後、動物園を訪れました。生徒たちは、パンダのかわいい仕草に見入っていました。

多様な価値観に触れ、自らの視野を広げる

中央音楽学院・首都体育学院訪問

25日(水) <第3日目>

ワンフーチン
王府井散策

中央音楽学院、首都体育学院を訪問し、施設見学や体験をしました。

中央音楽学院



中央音楽学院では、展示されている中国の伝統楽器の弾き方を講師の方に教えてもらい、演奏の体験をすることができました。



敷地内に演奏会を行うホールや世界の楽器が展示してある大学でした。世界の様々な楽譜が所蔵されている部屋も見学させていただきました。

最後のセレモニーでは、訪問団を代表して、鳳中学校2年の澁谷昊成くんが挨拶をしました。



首都体育学院訪問



首都体育学院では、敷地内にある北京オリンピック記念館の見学や、バスケットボールやローラースケートの授業見学をしました。



歓迎のセレモニーでは、訪問団を代表して、済美中学校2年の北村海晴くんが挨拶をしました。
学生たちは、体育の教員を目指し、がんばっているそうです。見学した生徒もひたむきに取り組む姿に刺激を受けていました。



王府井

北京市屈指の大通りには、デパートや土産物店が立ち並び、にぎわっています。生徒は、北京ならではの土産を手に取り、楽しそうに買い物をしていました。



多様な価値観に触れ、自らの視野を広げる

26日(木) <第4日目> 天安門広場・故宮博物院・万里の長城

中国を代表する世界文化遺産を見学し、壮大な中国の歴史に圧倒されました。

天安門広場・故宮博物院

天安門と故宮博物院は、かつて皇帝の居城であった世界最大級の広場と広大な宮殿群です。凍える寒さの中、ガイドさんの説明を聞きながら、自分の足で広さを実感しました。



万里の長城

総延長約6300kmの大城壁。青空のもと、より遠くを目指して元気いっぱい歩きました。



多様な価値観に触れ、自らの視野を広げる

27日（金） <第5日目>

解散式



迎えに来てくださった保護者や学校関係者へ、訪問団を代表して誠之中学校2年の松本玲采さんがお礼の挨拶をしました。一人一人が自分で考え、仲間と意見を交わし、チャレンジした5日間でした。

報告会

4泊5日の北京教育交流を終え、生徒たちは、自校や中学校区の小学校などで、教育交流を通じて学んだことを報告しています。2月22日（土）には、全体報告会を行います。

